

日本遺産を活用した観光振興について

【提案先】国土交通省、文部科学省

1. 提案内容

(1) 日本遺産を活用した省庁横断的な施策の実施

- ・日本遺産を関係省庁の施策に位置づけた有機的な事業展開

(2) 日本遺産への継続的な支援

○日本遺産魅力発信推進事業の継続的な実施

- ・認定地域に対して、コーディネーターやボランティアガイド等の人材育成、地域におけるワークショップ等を活用した受入体制づくり、公開活用のための整備等を実施する事業の継続および地域における事業の円滑な実施に向けた支援

○日本遺産の追加認定の実施

- ・本県における「忍者」をはじめ、既認定地域以外に存在する、世界に向けて発信可能な様々な魅力ある地域資源の追加認定

2. 提案の理由

○東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ゴールデンルートに集中している外国人観光客の地方への誘客を促進することが重要。

○このため、地方の個性や魅力を強力に発信する日本遺産の認定は非常に重要。

○日本遺産の取組においては、文化財を地域が主体的に整備・活用し、地域の活性化を図るためには、地域の実情に応じた継続的な取組が必要。

(本県の取組状況と課題)

■これまでの取組

- ・「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」が日本遺産に認定された。(H27.4)

- ・本県では、琵琶湖を一周することを短縮した「ビワイチ」という言葉を活用し、「湖国の宝に出会う旅」をコンセプトに、観光ブランド「ビワイチ」の取組を進めており、その中で「日本遺産」は重要な位置づけにある。



高島市マキノ町海津の石積み

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ビワイチ観光素材の開発		22件 比叡山延暦寺 特別拝観等	21件 針江生水の郷 かばた散策等
ビワイチ認定ツアー実施状況	7件認定 2,046人参加	7件認定 4,569人参加	6件認定 3,590人参加



Good luck trip (滋賀版)

- ・外国人観光客向けガイドブック（Good luck trip 滋賀版：英語、繁体字、韓国語）を作成した。(H26)
※H27には簡体字、タイ語、マレー語版を作成予定

■今後の取組

- ・日本遺産魅力発信推進事業等により日本遺産に関する情報発信等を実施。
- ・追加認定に向けた地域資源の発掘と磨き上げを実施。
- ・日本遺産の認定地域と広域観光周遊ルート、さらには県内他地域の観光地とを結んで、全県的な観光振興と地域の活性化につなげる取組を実施。
- ・外国人観光客向けに、多言語の観光情報ウェブサイトの構築等を実施。

■課題

- ・地域における人材育成、地域における受入体制づくりには時間を要するため、継続的な事業の実施が必要。
- ・地域の様々な地域資源を魅力ある観光資源に転換する取組や、既にある観光資源をさらに磨き上げる取組が必要。